じゆうなひと
PANGYA!
For Adul

じゃらなひと

PANGYA!

さあっ
やあっ
もうっ風強いんだからあ
きゃ
はっはっは本日強風なり
いや実に素晴らしい
5

……
あんな短いのはいてる方が悪いんだよ
風の強いときはお休みする
これ基本うんうん
ぶはっ
ああまったく
この風では俺の美貌が乱れてしまうではないか
!!!

見たなこのド変態がッッ!!!
シねッ
跪まづけッ
靴をなめろッ
あ 俺が一体何を—!?
クソッ—とんだ言い掛かりだ
俺の美しい顔を鈍器で殴りつけるとは—
—あの小娘—
これでは世界中の俺の女性ファンが泣くではないか—

R replay
ぽー
ほわわ
…フ
変態的だな
少年
へっ!?
あ!!
いやあの
これっ あ
実は
ポッケに
モンテが
こらモンテ
おとなしく
してろっ
キャデイ
ティッキー!!
面白いじゃ
ないか
丁度退屈
していたんだ
ずいっ
え!?

はぁいっ
きゃあっ
どしっ
いたた…
さあ
この少年のために
一肌脱いで
くれたまえ
はいっ
わかりました
さっ
行きましょうか
今日はどちらの
コースで？
えっ？
いやあの
今は別に…
オイオイ
違うだろ
ガッ
ひゃっ

こっちだ
こっち
むふっ
わっ
わ…わたし
何をすれば…
んん?
わかってるだろ?
そのままの状態では
プレイに集中
出来ないそうだ
さっ
おっ…
お口で
お願い
しまぁッッ!!
きゃっ
ずるっ

お口でって…?
ええっ!?
まさか そんなっ
わっ…わたし そんなこと 出来ませんっ!!
…ベストな状態で プレイさせることも キャディの役割じゃ ないのかー?
…あ…
わ…わたしの …仕事…
そ…そうですよね わかりました…
わたしで お役に 立てるなら…

こう…れふか…？
あむっ
っあ…っ

ふっ
ふーうあっ
ぴゅ
びゅるっ
びゅるっ
はあっ
ふーうっ
ふふ…
これーれ
れきまふねっ…

まだまだ
今度はキミが
服を脱ぐんだ
え!?
ぬ…脱ぐんですか?
…あの
ぬ
脱ぎました
あっ…ヤダ
オイオイ…
しゃぶりながら
自分まで気持ちよく
なってたのか?
ああっ
はいっ…
ごっ…
ごめんなさい…っ

こうするとおっ…あっ…
おまたがきゅううってなって…
はーんッ
わたし・
ぬちゃ
くちゃ
きっ気持ちいいんですっ
くちゃ
わたしいけない子なんです…っ・
お姉ちゃんからもらったホウキなのにっ
ぬちゃ
いつも…こんな事に使っちゃってるんですうッ
ぬちゃ
ぬちゃあ

…さあ 少年…
存分に 思いを果たせ 彼女も待っている
えっ… いい… いいのかな
うっ… どこだ…？
ここ…？ あれっ？
あ… あ…んっ
ヌルッ
ズブゥ
あ…ふうう ッッ
こ… この辺 かな
うっ…あ はいった…
っ…う すご…っ
ん… んんッ…

どーしてですかっ？
わたしのなかっ
いーいいですかっ
っ…く…
うっ…うん…
すっ…すごく
…イイ…よ…
あ…ああッ…
ホント…ですか
よ…かった あッ
わたしのっ
ジュプッ
ジュプッ
いい ですかっ
ふっ ふああッ
お役に立ててぇ
嬉しいですぅ…っ
わ…わたしでよければ
いつでもぉ…っ
はうっ
ズプッ
ズブッ

――よかったな少年
望みがかなった
気分はどうだ?
う―あ―!?
あぁいや
礼はいい
俺が何者かって?
そんな事は
気にするなハハハ
ジュプッ
では
さらばだ
少年!!
……
マックスさん
あんなのかぶって
何してんだろ?

見られてる
やっぱり見られてる!?
ねえ あれって マノクスさんでしょ？
ヒソ ヒソ
何やってんの あのヒト
まあ前からちょっと変な人だとは思ってたけど
そ…そうだね…
フフ…気付いてない
気付いてないぞ!!
何処にいても何をしても目立ってしまうこの俺だが
コレさえかぶっていれば誰にも気付かれない!!
素晴らしい!!

すやーー
クソッ…
何事も
なかったように
寝てやがる…
すや
すや
いやまて…
これはチャンスだ
クックックッ
見てろよ…
このお邪魔に
復讐してやる…!!

ん…
ギリッ
ぎっ
なっ…
なにコレ!?
!?
ぐっ
やっと
起きたか
なに
するんだよっ
離せっ
この

だ 誰…!?
フッ・
ばっ
あぁッ
やだっ
そ…そんなとこ 触るなあっ

くちゅ
うっ・あ――
くちゅっ
こっ こんな のっ
くちゅ
つく――
くちゅっ
ふ…あうッ
ぬちゃ
ふうぅっ
やめ・ろぉ
――っ・あ
ぬちゃ
はっ・あぁっ
くぢ
ヤダっ
見るなあっ
くちゃあ
ククッ
一人前に
感じやがって
なかなか
良さそうじゃないか

うあっ…!?
う…そだっ
く…あっ
ズチュッ
ズプッ
ズチュッ
やっやあっ
はいってきてる
…うあ…
はっ…あう
ズプッ
ズ
こんな…のっ

うっあ…バカあっ…あ
ズッ
ゆっ…許さ…ないっ
ぜっ…たいっ許さないいっ
ズッ
くふっ…うう…
!?
ちゅ
な…なに…あっ
ちゅ
…やっ…あ
ビュ
ビクッ
やあぁぁあっ
ビュ

つ…!!
あ…
や…いやっ
こっ…こんなカッコ
させるなあっ
くあっ
ア
ビクッ
ビクッ

ん…あ
そ…こ…
そんなにしたらぁっ
ためっえぁあ…
んん?ホントに
やめていいのか――?
はっ あ
えっ…?
な…に…?
こうすると
イイんだろ?
はッ
しまった――!!
喋ったら
この俺の美声で
バレてしまうっ
ふっううっ
んんんん…っ

あ…あっ
すごーいいい
ああっ…いいよおっ
ふあっ　あ
なか…っいっぱいだよおっ
フッ…
どうやらバレていないようだな
する…
あ…

あう・
そこ に
いれる のおっ
し 知らなかっ
こんなっ 気持ち いいって っ
は―あう

ん…んん…ッ!
ふあ…っ
こんな…の
はじめてだよう…っ
あっ・もっとたくさん
してえっ…んぅ
トロッ
くぷぅ

どうした
顔が赤いぞ
今頃
知恵熱かっ
お子様は
!!!
触るな
この
ド変態
ガッッ
このカラダに
触っていいのは
あのヒトだけ
なんだからッ!!

あ…
あのヒト…!?
ヘルメットかぶってて素顔はわからないけど すっごくカッコイイんだよ
いいコだいっぱいいてくれる とおぉーってすてきなヒトなんだからっ!!
………
…は…
クク ククッ
プッ
勝った…!!
ワ
なにがおかしいんだよっ
ハハ そーかそーか それは良かったな
いや俺が悪かった 退散するよ
ハア!?
フッ
勝った
…つづく

たくみなむち

2005/4/24発行
2005/5/15第二刷